

Elazzio

SEAT COVER



TOYOTA
ESTIMA
ESTIMA HYBRID

専用シートカバー取付説明書

1543/1544/1545/1546/1547/1548/1549/1550

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

…> 03-04

シートカバー装着前の注意事項

…> 05-32

シートカバーの装着方法

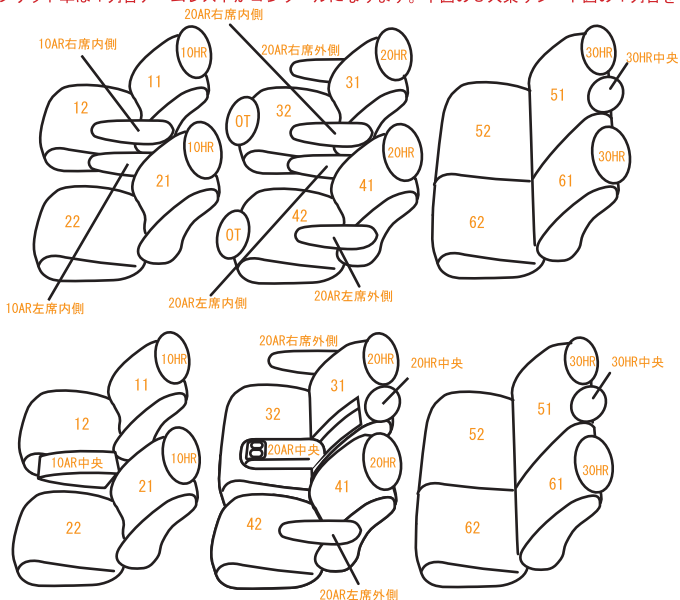
…> 33-34

アフターサービスと生地別メンテナンス方法

本製品シート形状とパーツの名称

7人乗り・ガソリン車のシート図です。

※ハイブリッド車は1列目アームレストがコンソールになります。下図の8人乗りシート図の1列目をご参照下さい。



8人乗り・ハイブリッド車のシート図です。

※ガソリン車は1列目コンソールがアームレストになります。上図の7人乗りシート図の1列目をご参照下さい。

取付必要工具



① ソケットレンチセット (12mm / 14mm)

※ソケット12mmは8人乗りの車のみ必要になります。

② プラスドライバー

※8人乗りの車は持ち手の短いドライバーなどが必要になります。
(17ページ3番参照)

③ クラッツィオ専用ヘラ(付属)

この商品では上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの障病があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきます。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席に生じた傷、破れ、摩擦、シワ、ヘコミ、変型、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応用の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところと放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力がかかるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましては一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

…> 1 列目座面の装着方法

運転席電動シートの図を主に使用していますが、手動シートも同様の固定方法で取り付けます。



- 1 最初にシート背面下からシート裏にゴムで固定されている生地を、図のように外します。



- 4 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。運転席電動シートは図の矢印部分をかかわして生地を引き出します。快適温熱シート装備車は中央に配線が通っているため、配線部分に注意して生地を引き出して下さい。



- 2 運転席側のシートは一番高い位置にシートを上げてカバーの装着を行います。カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



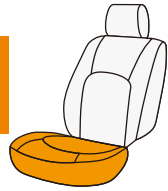
- 5 シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 6 カバー両側面の生地を、シートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。手動シート車はリクライニングレバー・シートリフターのダイヤルをかわしながら生地を入れ込みます。



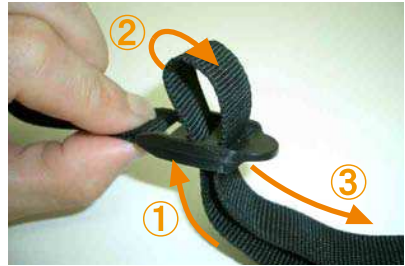
- 7 運転席電動シートはシート前側のプラスチックカバーの内側にベルトを通して、シート背面へ入れ込みます。手動シートは前側にプラスチックカバーがないので、ベルトをスライドレバーの上を通して、シート背面へ入れ込みます。



- 8 シートの背面から入れ込んだベルトを引き出します。



- 9 引き出したベルトを5ページ4番で引き出した生地についているバックルに通して固定します。



- 10 ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。ベルトは強く引きすぎると、縫製糸が切れてベルトが抜けてしまいます。ご注意ください。



快適温熱シートには中央に配線とカプラー部分がある

- 11 5ページ4番で引き出した生地のを、マジックテープでシートに直接貼り付けて固定します。図は快適温熱シート装備車です。配線とカプラー部分を覆うように生地を固定します。図は分かりやすいようにベルトを外しています。



- 12 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席七部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。運転席座面はシートを下げるとカバーの張りが緩む場合があります。その場合は側面の生地を再度深く入れ込み、調整して下さい。

Step 2

…→ 1 列目背もたれの装着方法

※背もたれカバーにファスナーが付いているパーツは、ビニールを使用しなくてもスムーズに装着出来ます。
ヘッドレスト用のビニールも付属しているので参考して下さい。

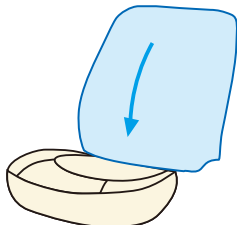
Point

付属のシートカバー 取付補助ビニールの使用方法

背もたれ部分のシートカバーを装着する際、付属のビニールを使用するとシート本体とシートカバーの摩擦を軽減しスムーズに作業ができます。

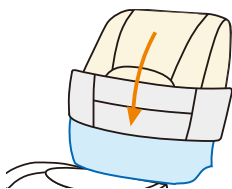
※ベアシックシリーズには取付補助ビニールは付属しておりません

①



背もたれ部分のシートカバーを装着する前に、付属のビニールを被せます。この際、後で補助ビニールを引っ張り出しやすいように、カッターで両サイドに切り込みを入れておきます。

②



背もたれのシートカバーをシートラインに合わせて被せます。

③



カソリン車はアームレストを外してカバーの装着を行います。



- 1 始めにヘラなどを使用して、アームレストの軸部分に付いている図のキャップを外します。



- 2 ソケットレンチなどを使用してボルトを外します。ソケットは14mmを使用します。ボルトを外すとアームレストが外れます。



- 3 コンビニフックはカバーに穴あけ加工が必要です。カバーの穴あけ加工は自己責任でお願いします。コンビニフックをシートから外します。フックを半分ほど倒して、中にあるネジをドライバースを使用して外します。フック部分をつかみ少し左右に振りながら手前に引くと、コンビニフックが外れます。



- 4 シートカバーをかぶせます。カバー両側面のファスナーを開いた状態でシートのラインに合わせてかぶせます。



- 7 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。入れ込む生地にはフックが付いています。フックでシート地・カバーの生地を傷付けないようご注意ください。



生地をしっかりと潜り込ませる

- 5 ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。まず台座の片側のフチに、生地をしっかりと入れ込みます。



両端の生地を外側に向けて引き出す

- 8 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。生地の両端は図のようにシートの外側に向けて引くと、シート正面側の生地がシートに馴染みやすくなります。



- 6 生地の伸びを利用して、ヘッドレストの台座を取り出します。
本革を使用しているタイプのカバーでは、革部分が伸びないため、若干生地が裂ける場合があります。ヘッドレストの台座幅以上に生地が裂けないよう、慎重に作業を行ってください。



- 9 カバー側面の生地を①→②→③の順番にシートに馴染ませていきます。カバー側面の生地がしっかりと張るまで、繰り返し行って下さい。



- 10 カバー側面のファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



- 13 8ページ8番で引き出した生地についているフックを、図のように12番の針金が通っている生地に引っ掛けて固定します。



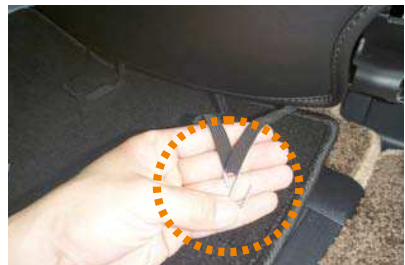
- 11 ファスナーの端は折り返してカバーの中へ入れ込みます。



- 14 フックは図のように固定されます。両端の生地は、生地を引き出す際にシートに馴染みやすくするためにあるので、固定する作業はありません。5ページ1番で外した生地を元通りに戻します。



- 12 5ページ1番で外した生地をめくり上げると、黒い生地に針金を通した部分があります。



- 15 カバー背面下に付いているゴムに付属の金属フックを図のように取り付けます。金属フックはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。



- 16 カバーのラインを整えて、運転席背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

コンビニフックの加工方法

コンビニフックの取り付けは自己責任でお願いします。



- 17 コンビニフックを元に戻します。カバーの上からコンビニフックを外した枠の周りに印を付けます。枠の少し内側に印を付けるようにして、コンビニフックを戻した際に、表に跡が残らないように気を付けて下さい。



- 18 印に沿って生地を切り取ります。シート表皮を切らないように作業は慎重に行ってください。



- 19 ドライバーを使用してコンビニフックを元に戻します。コンビニフックのネジはどこかで止まることなく回し続けます。ある程度回した時点で止めるようにして下さい。回し過ぎるとコンビニフックのツメが破損するのでご注意ください。



- 20 フックを指で軽く引っ張り確実に固定できているか確認します。



- 21 コンビニフック取り付け加工の完了です。

Step 3

…→ 2列目座面・オットマンの装着方法

7人乗りの2列目座面です。
8人乗りは13ページからご確認ください。

この位置よりカバーが前にずれるとオットマンが収納できなくなる場合があります



- 1 オットマンを出した状態で、シートのラインに合わせてカバーを全体にかぶせます。2列目座面カバーはシートの前側にずれて装着すると、オットマンが収納できなくなる場合がありますので、ご注意ください。



- 2 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 3 入れ込んだ生地をシート背面から引き出して、シートの背面に直接マジックテープで貼り付けて固定します。引き出した生地は少し幅が広がっています。シワが寄らないように伸ばしながら、端の方はシートの端に生地を入れ込むように固定します。



- 4 カバー前側から側面下の厚みのある生地をシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。



- 5 カバーの矢印位置に付いているゴムに、付属の金属フックを取り付けます。



- 6 シートの前側からオットマンを出してシート裏の奥を覗くと、丸印の位置に金属部品が見えます。ここに5番の金属フックを引っ掛けて固定します。



- 7 オットマンを取り外します。ヘッドレストと同じ要領で外れますが、ロック解除のボタンが両側に付いているので、両側とも押しながら、慎重にオットマンを外します。



- 10 ブラフックは平らなプラスチック部を**生地と一緒に折り返して**、フック側に入れ込みます。プラスチックのみをフック側に引っ掛けてもすぐに外れてしまうのでご注意ください。



- 8 カバーをかぶせます。オットマン裏側のアームの付け根側からカバーをかぶせます。矢印の角部分はカバーをかぶせると角の形状が変形することがあります。カバーをかぶせた後、オットマンの形状を元通りに整えて、生地が張るようにして下さい。



- 11 ブラフックを固定したオットマン裏は図のようになります。



- 9 カバーをオットマン全体にかぶせたら、オットマン裏でブラフックを固定します。



- 12 オットマンをシートに戻します。カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面・オットマンの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step 3

…→ 2列目座面の装着方法

8人乗り・2列目座面



- 1 シートを跳ね上げて、カバーをシートの前側からかぶせます。



- 4 カバー前側に付いているバックルに、3番で引き出した生地が付いているベルトを通してカバー前後を固定します。



- 2 シートを跳ね上げた状態で、座面と背もたれの隙間に生地を入れ込みます。入れ込んだ生地を引き出すのは3番のシート前側からです。シート背面に向かって生地を入れ込まないようにご注意ください。



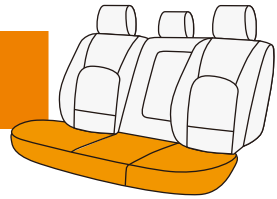
- 5 『1列目座面の装着方法』の6ページ10番を参考にベルトを固定して、ベルトの端はシートの下から垂れ下がらないように結び留めます。



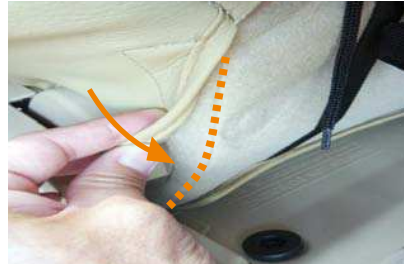
- 3 シートの前側から入れ込んだ生地を引き出します。引き出した生地をシワが寄らないように伸ばしながら、直接シートに貼り付けて固定します。



- 6 カバー両側面から出ているヒモの片方で、図のように輪を作ります。



7 13ページ6番で作った輪にもう片方のヒモを通します。



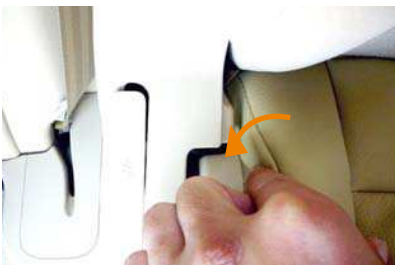
10 シートを跳ね上げて、外側面付け根の生地を、マジックテープで直接シートに貼り付けて固定します。



8 通したヒモを引くことでシートの下周りが締まります。締まった状態でヒモが緩まないように結び留めます。



11 内側面も同様に、マジックテープで直接シートに貼り付けて固定します。一部カバーをシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。



9 シート軸部分の生地を、めくり上げられないように伸ばしながら、シートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。



12 カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。助手席側も形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

Step 4 …→ 2列目背もたれの装着方法

7人乗りの2列目背もたれです。
8人乗りは17ページからご確認下さい。



- 1 『1列目背もたれの装着方法』の7ページ1番2番を参考に、アームレストを外します。カバー背面のファスナーを完全に開いた状態にします。



- 2 シート肩口のシートベルトが出ているプラスチックカバーを外します。ドライバーを使用してネジを2か所外すとカバーが外れます。



- 3 カバーをかぶせます。図のようにシートベルトの内側を通して、シートを包み込むようにカバーをかぶせます。



- 4 シート全体にカバーをかぶせる前に、カバー背面のファスナーを図のように少し閉じておきます。



- 5 カバーをシートのラインに合わせて、シート全体にかぶせます。



- 6 ヘッドレストの台座を取り出します。



7 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



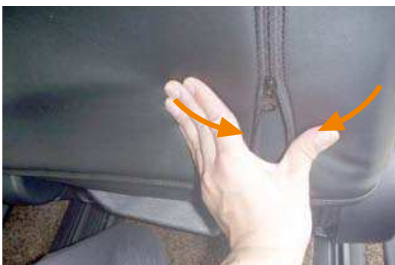
10 8番で引き出した生地とカバー背面下の生地を、マジックテープで固定します。



8 7番で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



11 15ページ2番で外したプラスチックカバーを、生地を挟み込み、元通りに固定します。



9 生地を内へ寄せながら、ファスナーを慎重に閉じます。ファスナーの端は、カバーの中へ入れ込みます。



12 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step 4

…→ 2列目背もたれの装着方法

8人乗りの2列目背もたれです



- 1 シートの背面側です。中央シートベルトの固定を外します。シート背面のレール上にある図のプラスチックのフタを、上側の隙間にヘラなどを差し込み開けます。



- 2 1番で開けたフタ部分2か所と、その間にある図の丸印部分のネジを、ドライバーを使用して外します。



- 3 中央2か所のネジは持ち手の長いドライバーは使用できないため、持ち手の短いドライバーなどを使用して下さい。



- 4 シート土台のプラスチックの枠を軽く手前に引きます。ツメが外れてシートとの固定が外れます。
まだチャイルドシート固定用アンカー部分が外れるようになっていないので、完全に外そうとしないように、ご注意ください。



- 5 チャイルドシート固定用アンカー部分の、プラスチックの枠を外します。隙間にヘラなどを差し込み、慎重にプラスチックの枠を手前に引くようにして外します。無理に外そうとするとプラスチック部に傷が付きまます。作業は慎重に行ってください。



- 6 シート背面のプラスチックの枠を、チャイルドシート固定用アンカーをかわしながらシートから慎重に外します。



- 7 プラスチックの枠を外すとシートベルトを固定しているボルトがあります。ボルトをソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは14mmを使用します。ボルトを外すとシート正面側からシートベルトが抜き出せます。



- 8 『1列目背もたれの装着方法』の7ページ1番2番を参考に、シート外側のアームレストを外します。中央のアームレストを外します。シート背面内側の、シートのファスナーの端を、シートの軸部分から取り出します。



- 9 ファスナーを開けます。ファスナーのつまみが生地裏側に付いているので、少々開けにくくなっています。生地を挟み込まないように、作業は慎重に行ってください。



- 10 ファスナーを開けてシート表皮をめくると中にナットが2本見えます。



- 11 ソケットレンチなどを使用してナットを2本とも外します。ソケットは12mmを使用します。



- 12 ナットを外すと図のようにシート正面からアームレストが外れます。
※図は別車種のものを使用しています。



- 13 アームレストにカバーをかぶせます。カバーを図のように半分ほど裏返して、アームレストのラインに合わせてかぶせます



- 14 アームレストの軸部分をボックス側に倒して、隙間から生地を引き出します。



- 15 アームレストの付け根部分でブラックを固定します。



- 16 ブラックは平らなプラスチック部を生地と一緒に折り返して、フック側に入れ込みます。プラスチックのみをフック側に引っ掛けてもすぐに外れてしまうのでご注意ください。



- 17 ブラックを固定すると図のようになります。図は別車種のものを使用しています。



- 18 ドリンクホルダーのフチに生地を入れ込みます。ヘラなどを使用して生地表面にシワやたるみができないように、しっかりと入れ込みます。



- 19 カバーのラインを整えて、2列目中央アームレストの完成です。
アームレストは背もたれカバー装着途中、21ページ**28番**からシートに戻します。
☒は別車種のものを使用しています。



- 22 ヘッドレストの台座を取り出します。



- 20 背もたれカバーをかぶせます。
カバーの加工穴から18ページ**7番**で固定を外したシートベルトを取り出します。



- 23 シートベルトの台座部分のフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 21 カバー内側面のファスナーを開けます。カバーをシートのラインに合わせて全体にかぶせます。
矢印位置のシートベルトのバックルは、シートの収納部分から外しておきます。



- 24 生地を全て入れ込むと図のようになります。



- 25 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。座面カバーはシートの前側から生地を引き出しましたが、背もたれカバーは生地をシートの背面側から引き出します。



- 28 27番の収納部の生地に注意してアームレストをシートに戻します。



- 26 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



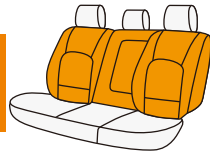
- 29 アームレストを元通りに固定します。



- 27 アームレストをシートに戻します。この際アームレスト収納部の生地が下に引っ張られると生地が浮いてしまいます。アームレスト収納部の上側の生地をしっかりと抑えながら元に戻して下さい。



- 30 シート表皮のファスナーを元通りに閉じてカバーのファスナーを生地を内へ寄せながら閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



図は別車種ですが、同様の固定方法で取り付けます



- 31 21ページ26番で引き出した生地をカバー背面下の生地とマジックテープで固定します。



- 34 助手席側です。アームレストを取り外し、カバーを図のように裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。シート全体にカバーをかぶせて、背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 32 20ページ21番で取り出したシートベルトのバックルを、カバーの収納部から取り出します。取り出しづらい場合は図のようにシートベルトを一度バックルにはめ込み引き出して下さい。



- 35 入れ込んだ生地を背面から引き出して、固定はシートの背面でマジックテープで固定します。



- 33 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれ・中央アームレストの完成です。アームレスト収納部はカバー装着後すくには生地がシートに馴染みません。収納部の生地を整えた状態で、アームレストを図のようにシートに収めた状態にしておくと、生地がシートの形状に馴染みやすくなります。



- 36 カバーのラインを整えて、2列目助手席側背もたれの完成です。

Step 5

…→ 3列目座面の装着方法



- 1 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 4 カバー内側面の生地を、ヘラ等を使用してプラスチック部の隙間に入れ込みます。



- 2 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込み、入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



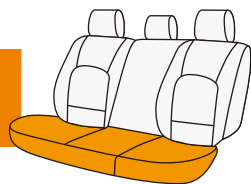
- 5 内側の生地をシートベルトとシートの隙間に入れ込みます。この時、カバーの分割ラインがシートのふちに来るようにして下さい。



- 3 シートベルトバックルの収納部に図の生地を入れ込みます。図のくぼみ部分でシートベルトをかわします。



- 6 運転席側のシートベルト収納部分のカバーにはゴムが付いています。ゴムをバックルに巻き付けるようにして通し、付け根部分で固定します。



- 7 車両の後ろ側からシート裏を見た図です。3列目手動シート車は、外側面と内側面のヒモを図の位置に通します（図は外側面）。



- 10 23ページ2番で引き出した生地が付いているマジックテープを、9番で結び留めたヒモを覆って、直接シートに貼り付けて固定します。



- 8 3列目電動シート車は図の位置にヒモを通します（図は内側面）。



- 11 3列目電動シート車はカバーの外側面に開いている加工穴の位置と、リクライニングスイッチの位置が合っている事を確認し、ヘラ等を使用し、隙間に生地を入れ込みます。穴位置が合っていない場合はカバーをシートに馴染ませ、位置を合わせて下さい。



- 9 23ページ2番で入れ込み、背面から引き出した生地をめくり上げます。生地裏に縫い付けているループ状のベルトにヒモを通します。ヒモ同士を絞り込み結び留めます。



- 12 カバーのラインを整えて、3列目運転席側座面の完成です。助手席側も一部形状は異なりますが同様の固定方法で取り付けます。

Step 6

3列目背もたれ（手動シート）の装着方法



1 カバーを半分ほど裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。



4 カバーをシート全体にかぶせて、背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



2 カバーの加工穴からリクライニング用レバーを取り出します。



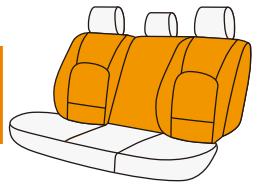
5 入れ込んだ生地を背面から引き出し、引き出した生地に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



3 ヘッドレストの台座を取り出します。



6 生地は図のように固定されます。



- 7 シート背面にシートを格納した状態から持ち上げる際に使用するレバーがあります。そのプラスチックカバーをドライバーを使用して外します。



- 10 カバー背面下の生地にマジックテープが上下2本付いています。上側のマジックテープをシート地の折れ目に沿って、直接貼り付けて固定します。



- 8 外したプラスチックカバーを、生地を挟み込み元通りに固定します。



- 11 下側のマジックテープはシート地の端に沿って、直接貼り付けて固定します。



- 9 シートの背面は図のようになります。



- 12 カバーのラインを整えて、3列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

Step 7

3列目背もたれ（電動シート）の装着方法



- 1 背面のバックボードを上げながらカバーをシート全体にかぶせます。ボードはカバー背面の切れ込みから出して下さい。



- 2 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。内側に図のような配線が通っている為生地の切れ込みで左右に避けるようにして下さい。



- 3 入れ込んだ生地を背面から引き出します。引き出すと図のように配線をかわしている状態になります。



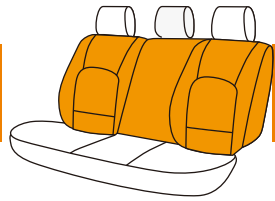
- 4 背面から引き出した生地に付いているマジックテープ（幅が広い方）をシートのふちに直接貼り付けて固定します。また、細い方の生地に付いているマジックテープは、純正の生地を付け根までめくり上げ、隙間に挟み込み固定します。



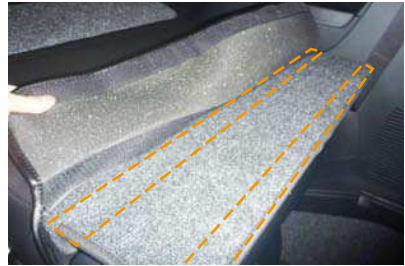
- 5 固定後は図のようになります。マジックテープは表向きに付いている為、戻した純正生地に張り付き固定されます。



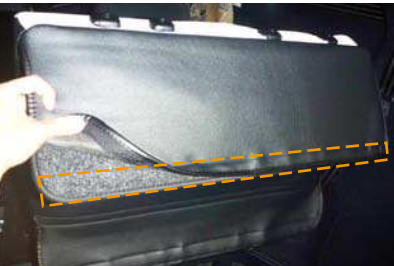
- 6 カバー背面上部の生地をめくり上げると、マジックテープが付いた生地があるので、ボード上部に貼り付けて固定します。この際、ヘッドレストの穴位置を合わせながら固定して下さい。



7 ヘッドレストの台座を取り出します。



10 カバー背面下部の生地裏に付いているマジックテープ2本をシートに直接貼り付けて固定します。



8 ボード部分に6番でめくり上げた生地についているマジックテープを直接貼り付けて固定します。



11 ボードを下ろした際、ボード裏に元から付いているマジックテープと、カバーについているマジックテープの位置が合っている事を確認して下さい。位置がずれている場合は、カバーを馴染ませ治して位置を調節して下さい。



9 背面ボードをめくり上げた位置についているマジックテープをシート（ボードの付け根）に直接貼り付けて固定します。



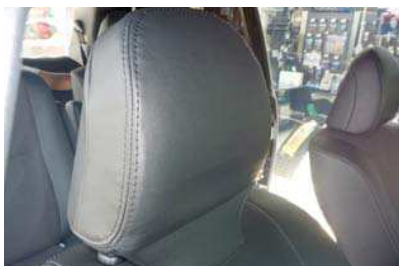
12 カバーのラインを整えて、3列目運転席座面の完成です。助手席側も一部形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

Step 8

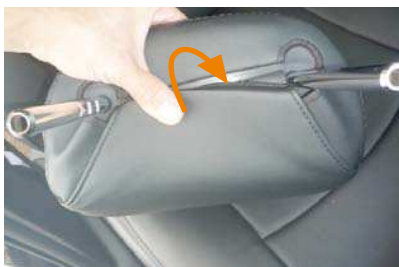
…→ ヘッドレストの装着方法



- 1 1列目ヘッドレストです。カバーを半分ほど裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。



- 2 ヘッドレストのラインからずれないように左右均等に引き上げて、カバーを全体にかぶせます。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏でブラックを固定します。ブラックの固定方法は『2列目座面・オットマンの装着方法』の12ページ10番をご参照下さい。



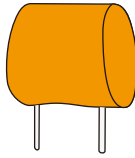
- 4 ヘッドレスト裏は図のようになります。



- 5 ヘッドレストをシートに戻します。カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。7人乗り2列目、8人乗り2列目両サイドのヘッドレストも、形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。



- 6 3列目両サイドのヘッドレストです。図のヘッドレストの先端部分から、ラインを合わせて背面側へかぶせていきます。ヘッドレストの先端部分に生地がしっかりと張るようにかぶせて下さい。



Step 9

…> アームレストの装着方法



- 7 1列目ヘッドレストと同様に、ヘッドレスト裏でブラックを固定します。



- 8 3列目中央ヘッドレストの裏です。こちらでも同様にブラックで固定します。



- 9 カバーのラインを整えて、3列目ヘッドレストの完成です。
8人乗り2列目中央のヘッドレストも、形状は異なりますが同様の固定方法で取り付けます。



- 1 ガソリン車の1列目アームレストです。アームレストをシートに戻した状態で取り付けます。図のようにカバーを裏返して、アームレストのラインに合わせてかぶせます。アームレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。



- 2 アームレストの軸部分に生地を引っ掛けるようにしてかぶせます。生地が丸く折り返らないように注意してかぶせて下さい。



- 3 ヘラなどを使用して軸部分の生地をしっかりと入れ込みます。

…> ハイブリッド用 コンソールの装着方法



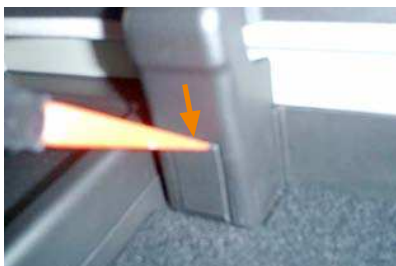
- 4 アームレストを起こして、こちらも軸部分に生地をしっかりと入れ込みます。



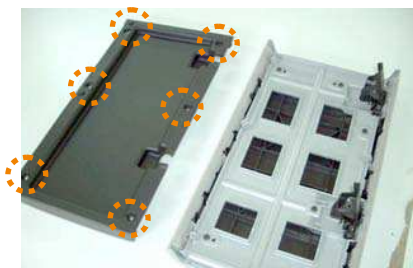
- 5 カバーのラインを整えて、1列目アームレストの完成です。
7人乗りの2列目アームレスト、8人乗り2列目両サイドのアームレストも、形状は異なりますが同様に取り付けます。



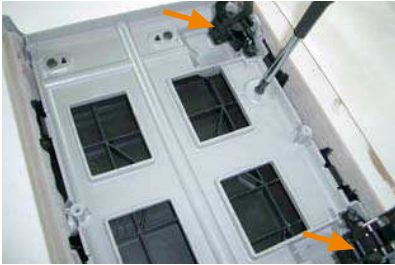
- 1 コンソールのフタを開けます。
始めに、図の丸印部分のプラスチックカバーを開けます。



- 2 プラスチックカバーは図の矢印の箇所にある凹みにへらなどを差し込み、フタを開けます。さらに中のネジをドライバーを使用して外すと、コンソールのフタ部分が外れます。



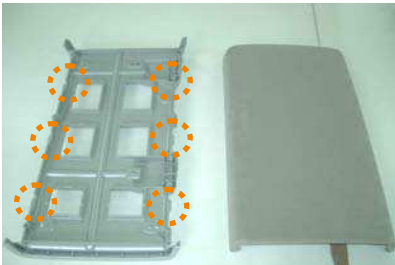
- 3 コンソールのフタ裏側の、丸印のネジを6本外して、図のように内フタと分離させます。



- 4 内フタを外すとフタの裏側にもネジがあります。ネジを外して、さらに矢印部分の固定用具も外します。



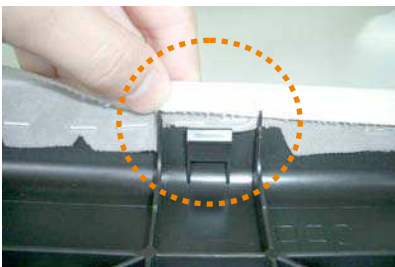
- 7 4辺の生地を巻き付けると、図のように角に生地が余ります。こちらは内フタを取り付ける際に、生地を挟み込み込み中へ収めます。



- 5 ネジを全て外して、ツメで固定されている図の丸印の箇所を外すと、図のように2つのパーツに分かれます。図の右側のパーツにコンソール用カバー（生地）貼り付けます。



- 8 5番で取り外したパーツを元に戻します。さらに4番で外した固定用具も元に戻します。この際、7番で角に余っている生地はそのままの状態にしておきます。



- 6 本体の裏側に生地を巻き付けて、丸印のツメ部分へ引っ掛けるように固定します。市販の両面テープなどで固定すると、作業が行いやすくなります。



- 9 31ページ3番で外した内フタを、7番で余った生地を挟み込み元に戻します。コンソールのフタを本体に固定して完成です。



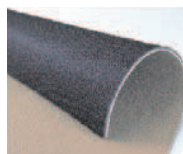
After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCLレザーの販売をしています。

(巾135cm・メートル単位での販売となります)
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816